

肺高血圧症, 左心不全, II型呼吸不全を合併した 成人期横隔膜ヘルニアの一例

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

○鈴木 学、勝野 貴史、草場 勇作、杉山 温人

【症例】

45歳女性

【主訴】

労作時呼吸困難

【現病歴】

10年前に右上腹部痛が出現し、近医受診した際にレントゲンが施行され、右横隔膜ヘルニアと診断されたが、根治手術は行わず経過観察。以後、一時通院を中断。2か月前頃より、労作時呼吸困難感を自覚し、その後徐々に増悪。体重増加および両側下腿の著明な浮腫状変化を認め、仰臥位に寝ることができず、自宅ソファー坐位での睡眠を余儀なくされ、10mも歩けなくなり、精査加療目的に当院入院となる。

【入院後経過】

身長:159.0cm, 体重:81.25kg, BMI:32.1kg/m² 血圧:190/117mmHg,

脈拍100回/分、SpO₂は室内機で88%、呼吸回数22回/分

両側下腿圧痕性浮腫が著明。

【画像】

レントゲンでは心拡大を認め、縦隔や気管は左側に偏移。右中肺野～下肺野にairを含んだ構造物を認めた。

CTでは胸腔内へ十二指腸下降脚～上行結腸が右横隔膜外側後方より脱出しており、右側のBochdalek孔ヘルニアを認めた。

【肺機能】

混合性換気障害

【心エコー】

左室はびまん性に壁運動低下

【右心カテーター】

mPAP:53mmHg、PCWP:31mmHg

【診断】

#1.Bochdalek孔ヘルニア

#2.肺高血圧症:2群,3群,5群の合併

#3.左心不全

#4.2型呼吸不全

#5.喘息